

江戸より来たる、 日野屋 の原点

The Origins of Hinoya: Rooted in the Edo Period





代表取締役社長 積田喜信

ご挨拶

仮設トイレは、建設現場、イベント会場、災害時の避難所などで、衛生環境と人々の尊厳を支える重要な社会基盤です。

当社は昭和27年の設立以来、「より良い環境づくりを通して社会に奉仕する」という社是のもと、仮設環境の整備と安全対策に取り組んでまいりました。

この歩みを踏まえ、原点回帰の一環として屋号「日野屋」を復活させ、社名を「日野興業株式会社」から「日野屋株式会社」へ改めました。

また、関係各所の皆さまのご協力により「一般社団法人 日本仮設トイレ工業会」が発足し、行政・自治体・関係団体と連携して提言や情報共有を行う体制が整いました。

今後は国際標準化への対応も見据え、日本の実情に即した業界の声を発信してまいります。これは、仮設環境の品質向上と安心・安全の確保に向けた大きな前進です。

当社は全国の拠点とサービス網を活用し、平時の安定供給と品質維持に努めるとともに、災害時には関係機関と連携し、迅速な支援体制を構築してまいります。

「日野屋」という新たな社名と「ミライカセツ(未来仮設)」の理念のもと、「三方よし」の精神を大切に、誰もが快適に過ごせる環境づくりに挑戦してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

これまで
仮設トイレを
中心に
様々な展開を
続けてきた
日野興業
株式会社

設立から
73年目を
迎えた
2025年
10月1日

社長の
積田喜信は
次代を見据えた
決断をしました

今日から
日野興業は
「原点回帰」の
想いを胸に

「日野屋」と
社名を変え

この京橋の地で
さらなる飛躍を
目指します！

私から
お話し
しましょう

その原点は
一体どのような
ものだったのか？

「日野屋」
それは
江戸時代から
受け継がれる
屋号です

ナビゲーター
日野屋株 会長
つみた 喜一
積田 喜一

日野屋の
始まり

それは
1800年頃に
活躍した
二人の人物に
よるものでした

積田家の先祖
積田佐五右衛門

そして
日野屋清吉

佐五右衛門は
江戸近郊の
「※砂村新田」に
暮らす農民であり

一方、清吉は
近江の日野商人
であったと
言われています

どのようにして
二人は出会い
現代の日野屋に
つながるの
でしょうか？

近江

砂村

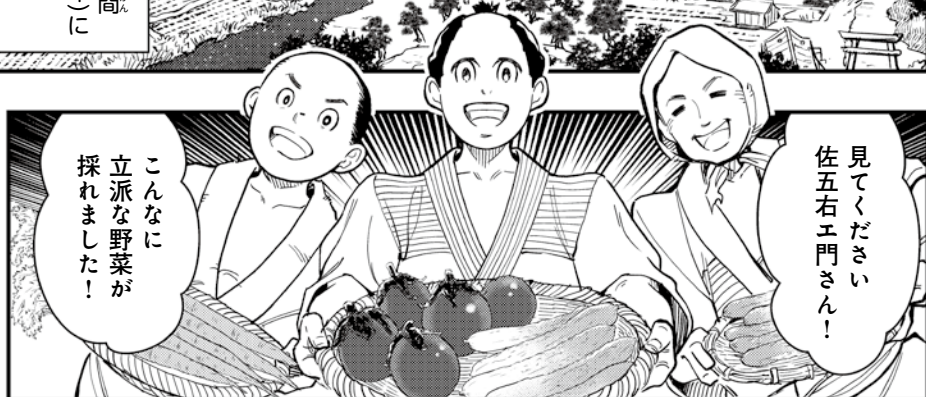
※【砂村】…現在の東京都江東区南砂 ※【新田】…新たに開発した農地。

第1章 積田家と日野屋の歴史

積田家の発祥は現在の千葉県夷隅郡大多喜町の山間にある板谷集落でした

その後積田家の子孫は数百年をかけて移住と定住を繰り返した

江戸時代の万治年間（1658～1661年）に砂村新田へたどり着きました



見てください
佐五右エ門さん！

こんなに
立派な野菜が
採れました！



砂村新田は万治2年（1659年）に砂村新左衛門という土木技術者によって開発された新田でした

砂村新左衛門



おお……
これは誠に
新鮮で大きな
野菜だ！

しかも収穫が
ヨソより早いと
きたもんで

どこの村の
野菜にも
負けませんぜ！

※中田新田：現在の東京都江東区東砂

幕府は
当時の江戸の
発展とともに
増えたゴミを
新田造成の
資材として
利用することを
考えました

ゴミの
投棄場所に
指定された
土地の一つが
この砂村で

※中田新田の
松本久四郎が考案した
「※促成栽培」という
栽培方法を
取り入れることで
野菜の産地にしたのです

この地に移り住んだ
積田佐五右衛門は
農民として
野菜を作りながら

市場へ売りに行く
「仲買人」を
していたと
されています

よし！
夜のうちに
舟を出して
朝イチで日本橋へ
持っていこう！

『砂村の早ものは
出荷も早い』だ！

へい！

※「促成栽培」：本来の旬よりも早く農作物を収穫・出荷する栽培方法。当時の砂村新田では「ゴミの発酵熱を利用していた。

皆が
手間暇かけて
育てた野菜だ
江戸中の人間に
食べてもらおう！

江戸の
日本橋界隈は
砂村新田から
最も近い
市場であり

江戸と
日本各地を結び
※五街道の
重要な地点で
あることから
日々様々な商売が
行われていました



まいど！
青物を持って
まいりました！

おはようさん
砂村の早もの
ですな！



おお！
こりゃあ
見事な！
積田さん
いつも
助かるよ！

ありがとう
ございます！



ふう…
一通り
荷入れが
済んだな



少しずつだが
うちの野菜の評判も
上がってきた

しかし江戸中に
広めるにしても
一人で納めに行く
今のやり方じゃ
限度がある

どうした
ものか…



話に聞いた通り
みずみずしい
野菜ですね

でしょう！
よく
お分かりで

あなたは
口調からして
西の方と
お見受けするが

砂村野菜の
評判はそんなに
遠くまで
届いて？



確かに私の
生まれは
近江ですが
砂村野菜の
評判は
ついそこの
お宿で
行商仲間から
聞いたのです

なんだ
近場かあ

が
グッ



申し遅れました
私は日野商人の
日野屋清吉と
申します

日野商人とは
江戸時代に
全国を行商した
近江国発祥の
商人集団です

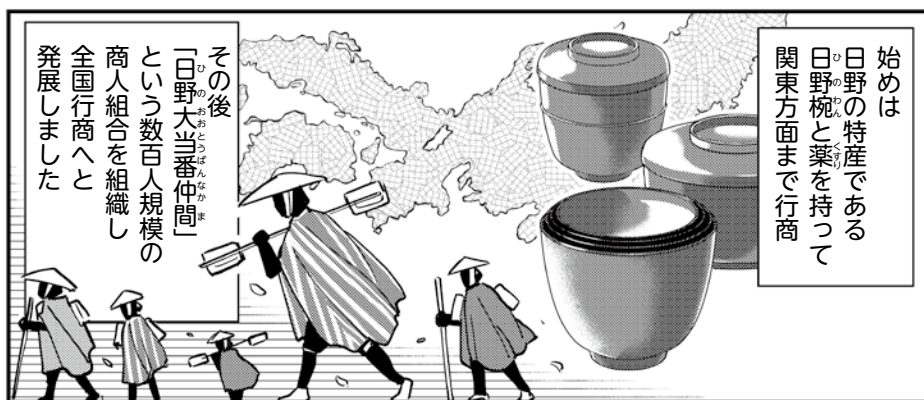
とりわけ現在の
滋賀県蒲生郡
日野町出身の
商人を指すと
言われています



始めは
日野の特産である
日野^{ひの}椀^{わん}と薬^{くすり}を持って
関東方面まで行商

その後

「日野^{ひの}大^お当^{とう}番^{ばん}仲^な間^ま」
という数百人規模の
商人組合を組織し
全国行商へと
発展しました



我々は
全国の宿場^{しゆくばう}町^{まち}に
定宿^{じやうしゆく}となる宿屋^{しゆくや}や
休憩所^{きゆうけいじよ}を設けて
商売^{しやうばい}や物流^{りふりつ}の
拠点^{きょてん}としており

そこで
商人同士が
情報^{じふほう}を交換^{こうかん}
しあうのです

酒や醤油など多くの
種類^{しゆるい}を扱^{あつか}ってきたが
新たな商^{あき}いをやるに
何かいい商品^{しやうひん}は
ないものだろうか？

そうだな…

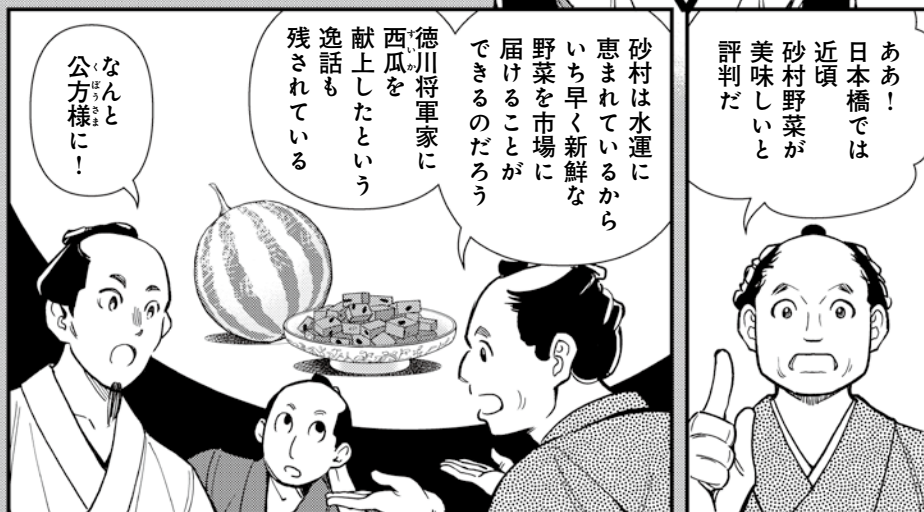


ああ！
日本橋では
近頃^{きんぎよう}
砂村^{さむら}野菜^{やさい}が
美味しいと
評判^{へいぱん}だ

砂村^{さむら}は水運^{みずうん}に
恵^{あづか}まれているから
いち早く新鮮^{しんせん}な
野菜^{やさい}を市場^{しやば}に
届^{とど}けることが
できるのだらう

徳川^{とくせん}將軍家^{しやうぐんけ}に
西瓜^{すいか}を
献上^{けんじやう}したという
逸話^{えつわ}も
残^{のこ}されている

なんと
公方^{くはう}様^{さま}に！



※「初もの」…その季節に初めて収穫した野菜・果実・穀物のこと。

それを聞いた私は
『なるほど
今の江戸の人々は
食べ物量を量ではなく
質で選ぶように
なってきた』

『特に季節の
「※初もの」は
江戸っ子が
我先に食べようと
競うほどだ』と！

質のよい野菜を
安定して大量に
届けることができれば
お客さんから
大きな信頼を得られる
だろうと考え…

積田佐五右エ門様に
直接お会いするため
足を運んだ次第で
ございます

日野商人は
各地の市場で
売れ筋や需要が
高い商品などの
情報を入手し

有望な仕入先に
目星をつけ、
新しい商品を次々と
取り入れていました

そうして
近江商人や日野商人は
全国にネットワークを
展開したのです

なるほど

…それで
私とともに
商いを
したいと？

日野商人定宿



それから
数日の間

佐五右衛門は
江戸の町で
清吉の様子を
うかがいました

日野屋厳選の
酒に醤油で
ございます！

どうぞ
ご賞味ください！

じっ



毎度
ありがとうございます
ございます！

またお気づきの
ことがあれば
何なりと

親方のところの
青物なら
うちの醤油で
味がよう立ちます
試しに置いてみては
くださいませんか

なるほど…

客や商人に
分け隔てなく
声をかけ

誰に対しても
丁寧に
頭を下げている

それに
商いの
情報収集にも
余念がない

確かに
清吉さんあのお方と組めば
砂村の野菜を
もっと多くの人に
届けられるかも
しれない…！



一緒に商いを
しましょう！

あなたを見て
信頼できる人
だと
確信しました

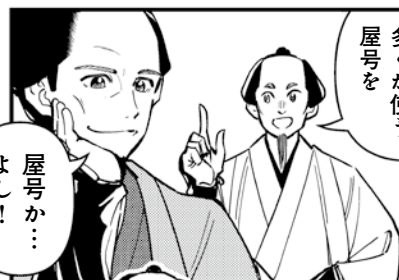


清吉さん



おおきに
積田様！

…!!

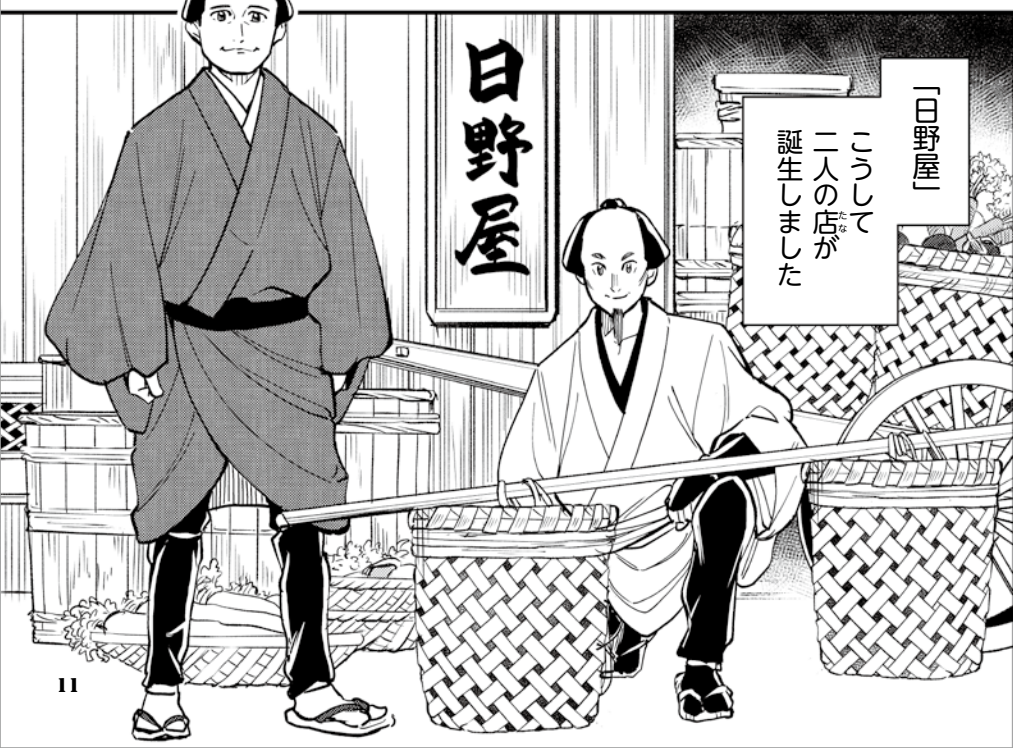


屋号か：
よし！

日野商人の
多くが使う
屋号を

信頼を示すためにも
屋号を掲げましょう

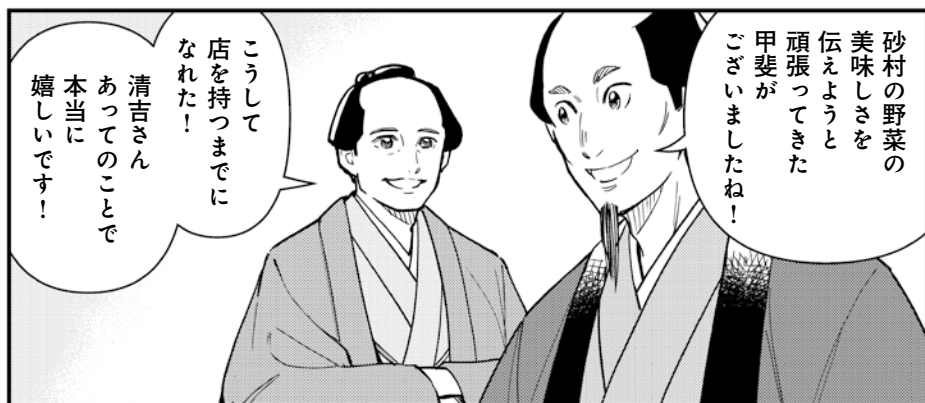
手を取り合った
佐五右衛門と
清吉ですが
江戸において
よそ者である
日野商人も
商売するには
買い手や地域の
信用を得る必要が
ありました



「日野屋」

こうして
二人の店が
誕生しました

日野屋



積田様

我々日野商人は

商いの心得として

※石田梅岩先生の
心学

「仁・義・礼・智の心が

信を産む」という

※儒教の徳目を

守ってまいりました

信
仁・義・礼・智の心が
信を産む

仁〓他人を思いやる心

義〓人として正しい心

礼〓相手をうやまう心

智〓工夫をこらす心

信〓信用される心

そして近江商人
全ての教え

商売は自分たちの

利益だけでなく

お客さんの満足と

地域社会への貢献を

同時に満たしてこそ

成り立つという

買い手
よし

売り手
よし

三方よし

「三方よし」の

精神を大事に

商いを続けて

きたのです

世間
よし

これらの
商業道徳は

お客さんに対して

だけでは

ございません

初めて

お声がけした時から

積田様にも

この心持ちで

向き合って

まいりました

清吉さん…

※「石田梅岩」…江戸時代の思想家・倫理学者であり石門心学の開祖。日常道徳のあり方を探求し「心学」を説いた。
※「儒教」…中国の思想家・孔子が唱えた道徳・教理を体系化したもの。



これからも
ともに良い野菜を
届けていきましょう！

もちろん
です！



ですので
改めまして

今後とも
よろしく
お願い
いたします

積田様



近江商人は
商いはもちろん

貯まった利益を
学校や橋などの
公共設備に投資し
世間に大きな貢献を
していました

清吉たちもまた
近江商人の一員として
社会貢献し
さらなる信頼を
得ていたのかも
しれません

第1章 終わり

第2章 江戸時代から受け継がれる精神

近江商人が
明治時代まで
400年も長く
活躍し続けてきた
根底には

「三方よし」の
教えが
ありました

さらに
日野商人は
「仁・義・礼・智・信」を
もって

お客様と
信頼関係を築き
全国各地へと
進出していきました

では
現代の日野屋が
大事にしている
ことは一体
何でしょうか？

彼らの目に
現代の日野屋は
どう映るの
でしょうか？



積田様

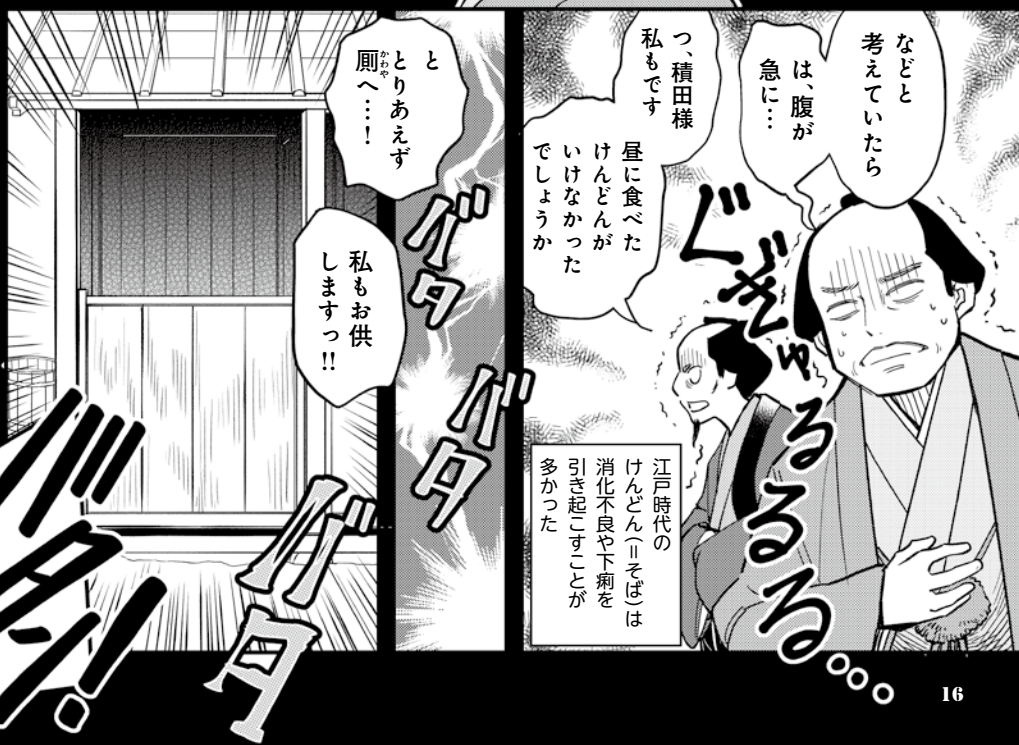
私たちの
「日野屋」も
枝店を
出せるほどに
なりましたね！

ええ
嬉しい
限りです！



このまま
日野屋はますます
大きくなつて
いくのだろうか

後の世の日野屋は
一体どのようになつて
いるんだろうか…



などと
考えていたら

は、腹が
急に…

つ、積田様
私です

昼に食べた
けんどんが
いけなかった
でしょうか

と
とりあえず
厠へ…！！

私もお供
しますっ！！

江戸時代の
けんどん（そば）は
消化不良や下痢を
引き起こすことが
多かった

か きり...

ふう...

失礼
いたしました
清吉さ...

カヤッ??

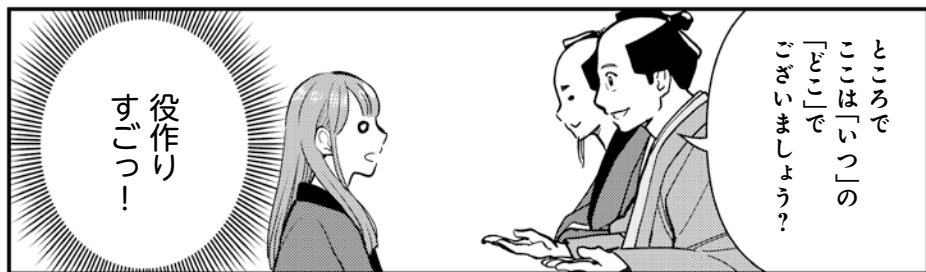
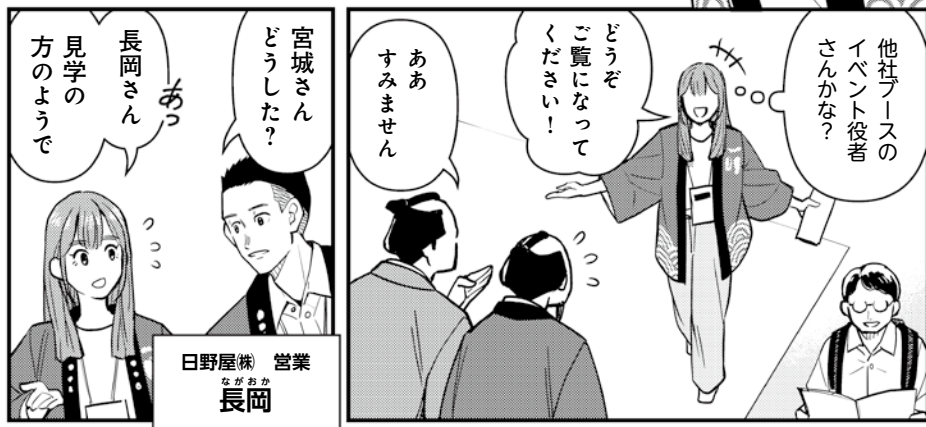
日野屋

Hinoya

こ
これは
一体!?

今回の展示も
バリエーション
豊かですね!

日野興業さん
新しい社名に
変更されたん
ですか!



なるほど
私たちの日野屋は
後の世で
「仮設トイレ」
という品を
扱っているんですね

「人が大勢
集まる場所に
持ち運べる
厠の小屋」
ということか

厠小屋はここに
置いてあるもの
以外も作られて
いるのですか？

はい！
カタログに
他の種類が
載っています

これまでは
女性が安心して
利用できる

「女性専用トイレ」や

女性専用

Flower Toilet



身体が
不自由な方のための
「バリアフリートイレ」

清潔で安心して
利用できる
「快適トイレ」などを
開発してきました

実際の現場でも
お客様から喜びの声を
いただいております

厠小屋だけで
こんなに
数があるとは！

Pitta ソーラー仕様

既存のハウス型トイレ「Pitta-N」に
ソーラーパネルを組み込んだ製品です。

例えば…

そしてさらなる
快適なトイレを
ご提供できるよう
お客様の使用感や
改善点を調査して
商品の改良・
新商品の開発にも
取り組んでいます

太陽の光を
動力に
するの
か！

- 設置場所：災害現場、建設現場の奥地、山間部など。
- 電源：ソーラーパネルによる発電のほか、外部電源の接続も可能。

車載ハウス型トイレ

従来の仮設トイレよりも快適性・機能性を高め、
トラックの荷台に載せて移動が可能です。

大きな
荷車だな！

手水場ていずばも
ありますよ！

中には個室が二つ、
手洗い器と鏡が
あります！

- 機能・設備：あつそう圧送トイレを積み、給水用・排水用の1000Lタンクを二つ装備。
上水の接続、またはタンクからのポンプアップによって給水が可能。
- 電源：ソーラーパネルを組み込んでおり、外部電源の接続も可能。

圧送トイレの実証実験

ポンプ内蔵型の水洗トイレ「easy wash」の検証を実施。

洗浄水量を抑えてもしっかり流せるよう、ポンプの作動時間や給水時間、排水性などを何度も検証し、最適なバランスを追求しました。

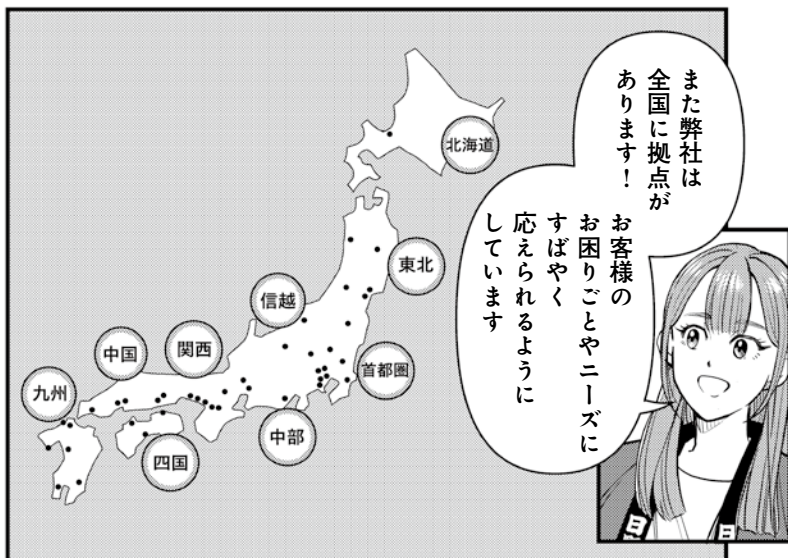


なるほど…

我々近江日野商人も
世間で求められて
いるものが何か
情報を集め、
質のよい品を
売ることを
心がけていた

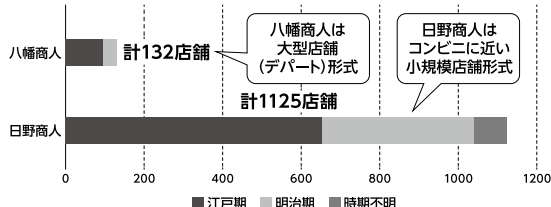
それと同じように
この人たちも
お客様に
真によいものを
届ける努力を
しているのだな

これは
まさしく
日野大当番と
同じ仕組みだ！



店舗数は明治期までの
400年間で
1000店舗を超えて
いたとされています

近江商人の各店舗数



八幡商人は
大型店舗
(デパート)形式

日野商人は
コンビニに近い
小規模店舗形式

日野商人には
いわゆる現代の
フランチャイズ形式の
先駆けのような
システムがありました

それが私たちの
責務です！

ライフラインが
途絶えた
状況でも
尊厳のある
生活を
守りたい



拠点にも
厠小屋を備えて
遠くの地まで
届けているのですね

協定締結の様子

災害時における仮設トイレ
協定締結式
© Hinoya

被災地へ仮設トイレを
すばやく届ける際にも
全国の拠点が重要で
す



それにしても
立派な厠だ

こういった
細かな作りは
全て日野屋で
賄われて
いるのですか？

製品は仕入れ先である
協力業者さんと
綿密な打ち合わせを
重ねて制作されます

仕入先様の会社へ
定期的に訪問して
製造方法や工程を
現場で学ぶ方も
おられますね

まるで
砂村の農民とともに
切磋琢磨しながら
野菜を作っていた
頃のように……

その姿勢
深く感じ入ります

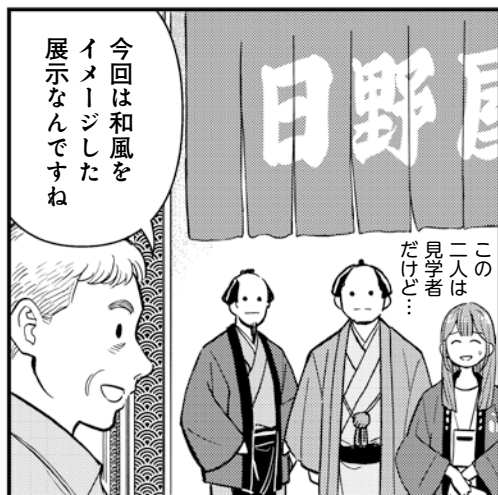
物を作る苦勞を
知ること
仕入先が活気
づきますし

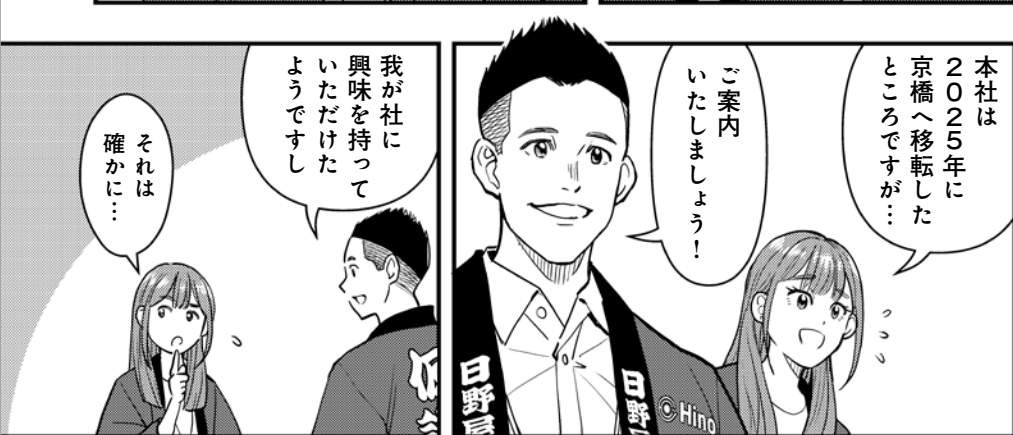
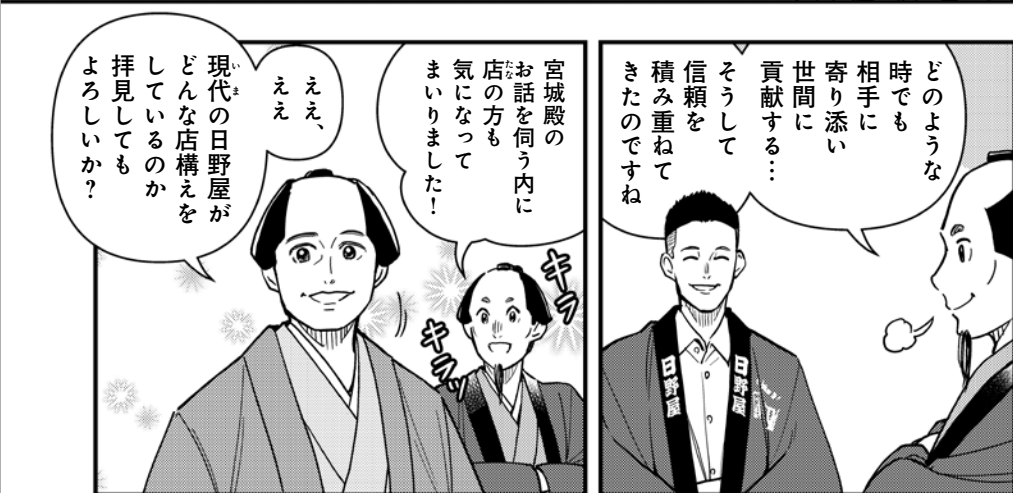
私たち商人も
多くの人に品を
届けたいという
気概に溢れますからな

ええ

昔から
ものづくりに
対する想いが強い
弊社だからこそ

仕入先様との
コミュニケーションも
大事にしているんです





イベント終了後

日野屋は
こんな塔のような
建物になったのか

で、でかい！

この辺りの
建物は軒並み
大きいですね…

東京 京橋

日野屋株式会社 本社

建物の中なのに
広々としていて
まるで外に
いるかのようだ

どことなく
江戸の町並みと
似ているなあ…

執務室

ご来社いただいた
お客様からは
「面白い
オフィスですね」と
好評なんです

京橋に
移転してから
いろんな方と
出会う機会も
増えました

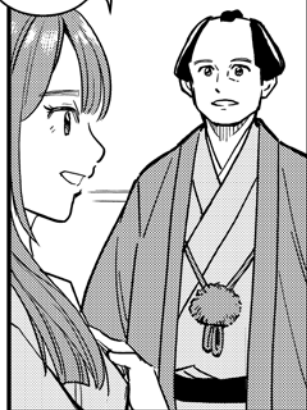
ほう

少し気になって
いたのですが：
宮城殿はなぜ
日野屋で働こうと
思ったのですか？

私は東北地方の
出身なのですが

幼い頃に
震災を経験して
避難先で初めて
仮設トイレを
使ったんです

後で調べてみたら
それが日野屋の
製品だと知りました



長い歴史を持ち
地域に根ざしながら

災害時には
人の役に立てる
会社だと知って
ここで働きたいと
思ったのが
一番の理由です

古き良き社風を
大切にしながらも
新しいことに
挑戦し続けて
いるところも
日野屋の強みだと
思います

それは大きな
きっかけですね

助けられた経験が
あるからこそ
「今度は自分が
誰かの役に立ちたい」と
思える！

先程の展示会を経て
その想いを形にできる
会社なのだと
改めて感じ入ります

ここ数年は
社員の研修にも
力を入れて
いるんです

背景には
「社員一人ひとりに
自ら考えて行動できる
人材へと成長してほしい」
という想いがあります

指導する側も
トレーナー研修を受けて
管理職に必要な
伝達力・統率力の強化も
図っているんです

管理職が若手社員に
・仕事の型
・内発的動機づけ
(自分自身の意思で働く意味を見つけること)
を指導

それが店全体の
力につながって
いるのか

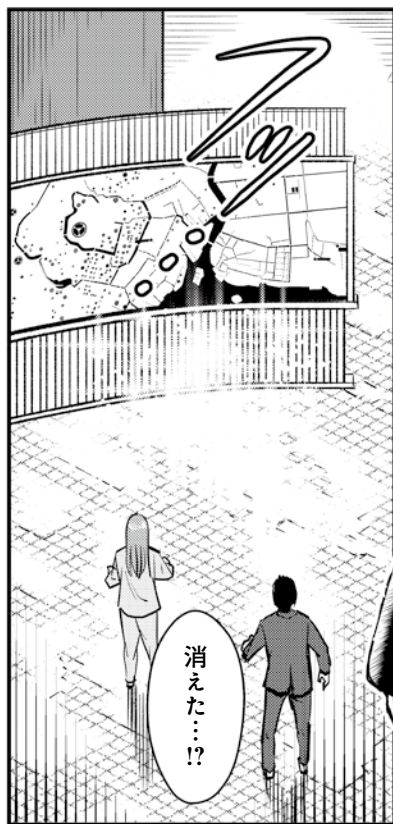


江戸の地図？



形は違えど
未来の日野屋は
人の暮らしを
支える商いをして
いるのですね





私たちが大事に
してきた精神が
今も受け継がれて
いるのだと
深く心得ました

あなた方の時代まで
「日野屋」が続くように
我々も商売に
励みましょう！

消えた...!?

まさか
あの人たち
本物の
江戸時代の人...
だったの?

佐五右衛門たちが
現れたことは
社内でも噂になった

…という
ことが
あったそう
ですよ

新しくなった
日野屋を
ご先祖様が
見に来てくれた
わけですね

父の庄之助が
「日野屋」の看板を
掲げた日の話を
思い出すな…

うちの
先祖代々からの
屋号は「日野屋」
だったな…

よし！
「日野屋金物店」
という名にしよう

ここから
一歩ずつ
信頼を
築いていこう

昭和の頃

個人経営から始まった
我が社が発展を
続けてこられたのは

人のために
社会のために
役立ちたいという
初代の想いと
行動力が連綿と
受け継がれて
きたからです

それは江戸時代で
いうところの
「三方よし」の
教えにも
通じるものがある

そうですね

その教えが
近江商人を
400年以上
支えてきました

我が社も
仮設トイレの
創業メーカーとして
この先も業界を
リードする義務が
あります



社名変更を機に
掲げたテーマ

「ミライカセツ」には

誰もが快適に
過ごせる環境づくりを
目指す決意が
込められています

テーマの実現において
最も大きい出来事はやはり
「日本仮設トイレ工業会」の
設立ですね

JTTMA
Japan Temporary Toilet Manufacturers Association
日本仮設トイレ工業会





だからこそ
業界全体の
統一された基準や
連携体制を
作るための
工業会の設立は
私の悲願でもあった



仮設トイレは
現場環境を支える
重要な衛生基盤



この
工業会によって
多くの事業者や
行政と連携し

より
安心・安全な
トイレを全国に
普及させて
いきましょう！

まさに
「より良い
環境づくりを
通して
社会に奉仕する」
という社是を
形にしてい
取り組みだよ！！



「日野屋」は
我が社の
原点とも
言える名です

原点帰帰の
想いと
社是とともに

さらなる飛躍を
目指して
いきましょう！

第2章 終わり

登場人物紹介

Characters

●江戸時代



【積田 佐五右衛門】

積田家の先祖に当たる人物。江戸時代、砂村新田の農民たちと協力して美味しい野菜を作り、江戸日本橋へ届けていた。清吉との出会いを経て、商いを広げ日野屋誕生の礎を築いた。



【日野屋 清吉】

佐五右衛門たちが作る質の高い野菜に惚れ込んだ日野商人。信頼を第一に掲げ、佐五右衛門へ商売を持ちかけることで、共に日野屋を誕生させた立役者。



【積田 喜一】 現社長

困難な時代の中でも「三万よし」の精神を大事に、お客様と社会貢献を第一に考えてきた人物。ものづくりの想いを胸に、会社の土台を築いた。物語ではナビゲーターとして、日野屋の原点から現代に続く精神を次世代へと語り継ぐ。



【積田 喜信】 現社長

次代を見据え、社名変更とともに「ミライカセツ」というテーマ掲げる。「より良い環境づくりを通して社会に奉仕する」という社是のもと、明るく人柄が仮設の未来を切り拓く。

●日野屋現社員



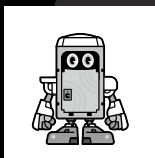
【長岡】

現在の日野屋で営業として働く社員。現場で培った知識と経験を活かし、お客様の困りごとに迅速に対応する社内外で信頼の厚い人物。忙しい時でも飄々とした余裕のある人柄が魅力。



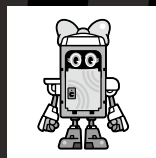
【宮城 あかね】

現在の日野屋の広報担当として働く若手社員。震災時の避難所で日野屋の仮設トイレと出会い入社。仮設を通じて、日野屋の想いや社会への貢献を発信している。



【ひのまるくん】

「みんなの笑顔が僕のエネルギー」仮設トイレロボット。天真爛漫で少しおつちよこちよいだが、運動や掃除、人助けが大好き。



【ひよりちゃん】

「支えるのが私の役目」仮設トイレロボット。明るく好奇心旺盛で、かわいいうものが大好き。現場を元から温かく支えている。

●現代

●日野屋公式キャラクター

日野屋のあゆみ

Company history

●1800年頃

積田 佐五右衛門・日野屋 清吉が共に商売を始め「日野屋」の屋号を掲げる

●1937年

初代 積田 庄之助 日野屋金物店 創立

「1950年代～70年代」……日本中が建設ラッシュに沸いた高度経済成長期

●1952年

株式会社 日野屋金物店 設立

●1957年

社名変更 日野興業株式会社
国内初の仮設トイレ「H-1」

●1970年代

～80年代
日野興業キャラクター 小便小僧モチーフ「ピピちゃん」
初のFRP製トイレ「FR-1」

●1978年

宇宙博覧会

「1990年代～2000年代」……リサイクル法や環境保護への意識が社会的に高まった時期

●1990年

2代目 積田 喜一 代表取締役社長に就任
再生可能で耐久性に優れたポリエチレン製トイレの開発



日野興業株式会社ロゴ



再生可能で耐久性に優れた
ポリエチレン製トイレ



初のFRP製トイレFR-1



ピピちゃん



国内初の仮設トイレH-1



株式会社 日野屋金物店



沖縄サミット



宇宙博覧会



日野屋金物店

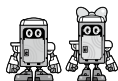
●2000年	沖縄サミット
●2006年	住宅業界新規参入。千葉県市川市 原本本社
「2010年代以降」……建設現場における「働き方改革」や「女性の進出」が叫ばれた時期	
●2012年	新しい製品と現場環境の提案・開発テーマ「新仮設」を掲げる
●2013年	積田 喜一 代表取締役会長に就任 3代目 積田 喜信 代表取締役社長に就任
●2014年	国内初の女性専用仮設トイレ開発 業界・ブランドイメージ向上に向けた発信の場を求め、展示会やイベントへの積極的な出展を開始
●2015年	快適トイレの発売開始 ※快適トイレとは、国土交通省が2016年より運用を始めた、建設現場における男女ともに快適に利用できる仮設トイレのこと
●2024年	能登半島地震災害支援 日野屋は、阪神・淡路大震災以降、全ての大規模災害時に国からの要請を受け、仮設トイレの提供を行っている
●2025年	社名変更・本社移転 日野屋株式会社 テーマ「ミライカセツ」を掲げる
●2026年	一般社団法人日本仮設トイレ工業会設立・参画



日野屋株式会社ロゴ

ミライカセツ

あらゆる現場を快適に



日本仮設トイレ工業会ロゴ



能登半島地震 災害支援



快適トイレ



新仮設ロゴ



Flower Toilet®



国内初の女性専用仮設トイレ開発



日野屋株式会社



展示会・イベントへの積極的な出展



千葉県市川市 原本本社



公式ウェブサイト



公式 SNS
Instagram



公式 SNS
X



公式 SNS
YouTube



採用担当
Instagram

江戸より来たる、日野屋の原点

2026年9月 第1版 第1刷発行

●発行：日野屋株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-1 TODA BUILDING 18F / TEL.03-6702-0481 / <https://www.hinoya-kk.co.jp/>
●作画：えのきろうちょう ●編集：京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)事業推進室 ●歴史調査協力：株式会社ファミリーヒストリー記録社

©2026 日野屋 ※本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。